

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

学校名	北海道教育大学 旭川校	個人・ グループ名	原田友樹	作品名	ダイニングテーブル
-----	----------------	--------------	------	-----	-----------

### I. 製作の動機・目的

大学4年間で学んだ技術を活かし, 卒業後も使用できる物を作ろうと考えました。また, 自分のスキルの向上のためにも新たな技術に取り組みたいと思い, 製作に取り掛かりました。



### II. 利用方法

ダイニングテーブルとして, 食事をする際に使用します。4人での食事を想像し, 作りました。実際に大人4人が座っても十分な広さです。



### III. 作品詳細

木材はミズナラを使用しました。2年前の授業でミズナラを使用し, いつかまた使ってみたいと思っていたので, 選びました。サイズは天板が800×1500, 高さが750mmです。両脚の間は980mmあります。色は昨年の発明・工夫作品コンテストで製作した『食器棚兼飾り棚』と同じ, オークで揃えました。最後は油性ニスで仕上げました。

### IV. 工夫点

- ① 脚のデザインに凝り, 左右対称にするため, 型板を作りました。
- ② 脚の接合するための溝などを, ルーターで加工しました。
- ③ 分解式では無いものの, 楔で止めることにより横から締め付けることができ, 安定性が増しています。
- ④ 脚のほぞ穴から天板に木ネジを打ち, その後脚をほぞ穴に入れているので, 木ネジが目立ちません。
- ⑤ 強度が必要な脚には60mm厚の材, 天板や飾り脚, ストレッチャーには30mm厚の材を使用しました。
- ⑥ 天板は, ビスケットで4枚の板を接ぎ合わせました。木の反りも考え, 木表と木裏を考慮しています。
- ⑦ 天板の縁を, トリマーでデザインを少し加えました。



### V. 製作を終えて

今回ダイニングテーブルを作るにあたって, 新たにルーターとトリマーの使い方を覚えることができ, また一つ技術が身に付きました。設計段階では, 天板はアリ溝吸い付き棧で反りを防止する予定でしたが, 製作途中ですでに天板が少し反ってしまい, 実行することができなかったことが残念です。それでも, 作品が完成したときの喜びはとても大きく, ものづくりの楽しさを改めて感じました。残りの大学生活でこのダイニングテーブルに合う, ダイニングチェアを製作します。また, 卒業後も生涯ものづくりを続けていきたいです。